

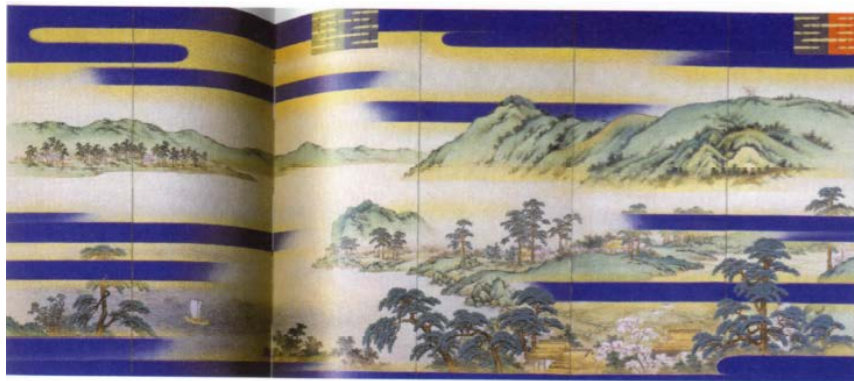
## 悠紀齋田詠進歌

大正4年11月10日、大正天皇即位の大典が行われ、続いて、14日即位後初めての新嘗祭である大嘗祭が行われた。京都仙洞御所の庭内に祭場を2箇所、東（左）に悠紀殿、西（右）に主基殿を設け、それぞれ新穀を神前に供する神事である。京都を中心として、東日本には悠紀齋田、西日本には主基齋田が勅定された。大正天皇大嘗祭では悠紀齋田に愛知県碧海郡六ツ美村中島の早川定之助所有地（現在は岡崎市）が、又、主基齋田には香川県綾歌郡綾川町（旧山田町）が勅定された。奉納された新穀は供饌の儀に用いられ、その儀式の中で稻舂歌や風俗歌が奏せられた。その後、参列者をもてなす大饗会がもたれ、風俗舞歌が舞いに合わせて奏でられた。これらの風俗歌は、宮内省御用係である歌人の子爵黒田清綱が、県下の主だった景勝地を採り上げ、次の10首を詠進した。

- ・ 稻舂歌（いなつきうた、神饌調理中に奏する歌）：六ツ美村  
「八束穂の 垂穂の稲を 刈り積みて 舂（つ）くや村人 むつみ合いつつ」  
歌碑：悠紀の里
- ・ 悠紀地方風俗歌（大嘗祭供饌の儀式中に奏する歌）：名古屋八事音聞山  
「君が代を 千代もとよはふ 松風の 音の絶えせぬ 音聞の山」  
歌碑：八事神社駐車場
- ・ 悠紀地方風俗歌屏風の歌（大饗会会場の屏風に書く歌）
  - 春（桜田霞に鶴）  
「年魚市潟 汐みちくらし うちかすむ 桜田さして 田鶴なきわたる」  
歌碑：名古屋市南区貝塚町 桜田八幡社境内
  - 夏（衣浦新樹に波）  
「みどりそふ 森の木の間に見ゆるかな 衣の浦の 波のしらゆふ」  
歌碑：新須磨海岸に歌碑があったが、昭和28年十三号台風で倒壊したので、昭和60年氏子崇敬者により大浜熊野神社内に歌碑が建てられた。
  - 秋（亀崎月）  
「萬代も かはらぬかけを 亀崎の なみにうかへて 月てりにけり」  
歌碑：半田市亀崎町 神前神社裏亀崎城址
  - 冬（矢作川千鳥）  
「矢作川 弓張月の かけさして きよき流に 千鳥なくなり」  
歌碑：碧南市舟江町 志貴崎橋もと、岡崎市矢作町 矢作神社入り口矢作川堤防の上
- ・ 悠紀地方風俗舞の歌（大饗会会場で舞うときに奏する歌）
  - 三音聲（年魚市潟）  
「わたつみの 神もほくらし 年魚市潟 知多の浦波 千代の聲して」  
歌碑：名古屋市南区岩戸町 白豪寺境内
  - 楽破（豊明の二村山）  
「君が代に よそへてそ見む ときはなる 松と竹との ふた村の山」  
歌碑：豊明市沓掛町 二村山頂
  - 楽急（五十良児島）  
「君が代の 恵られしみ いらこ島 海土の子らさへ うたふ聲する」  
歌碑 田原市 伊良湖神社入り口 鳥居左
  - 退出音聲（豊橋の高師山）  
「松風の 声いや高し 高師山 わけてもけふは 千代よばふらむ」  
歌碑：豊橋市上野町 高師小学校 校門右手

尚、皇室の登極令附式「即位礼及び大嘗祭後大饗第一日の儀」に「本殿の北廂に錦軟障（千年松山水図）を設け東北隅に悠紀地方風俗歌の屏風、西北隅に主基地方風俗歌の屏風を立つ」とあ

り、愛知県及び香川県の名所を絵と歌で紹介したものである。屏風は高さ8尺5寸、幅3尺の六曲一双にして、野口小蘋が描いた、春（桜田霞に鶴）、夏（衣浦新樹に波）、秋（亀崎の月）、冬（矢作川の千鳥）の絵の上部に黒田清綱が和歌四首を揮毫したものである。



悠紀 愛知県 夏（衣ヶ浦の新樹に波） 春（桜田の霞に鶴）



悠紀 愛知県 冬（矢作川の千鳥） 秋（亀崎の月）

**【黒田清綱（1830～1917）】**

黒田清綱（くろだ きよつな）は、鹿児島県出身の子爵。東京府大参事、元老院議員、枢密院顧問、宮内庁御用掛などの要職を歴任した。和歌は格調高い歌風で知られた人で、詠進歌にもその特徴がよく表れている。

**【野口小蘋（1847～1917）】**

野口小蘋（のぐち しょうひん）は明治期から大正期に活躍した南画家、日本画家。奥原晴湖とともに明治の女流南画家の双璧といわれた。名は親子（ちかこ）、字は清婉。同じく南画家の野口小蕙は娘。大正期には山水画を多く手がけ、大正天皇即位に際しては三河悠紀地方の「風俗歌屏風」制作を宮内庁から下命、大正4年（1915年）には竹内栖鳳の「主基殿屏風」と対になる御大典祝画屏風「悠紀殿屏風」を献上する。



子爵 黒田 清綱



野口 小蘋

本項は以下の資料を引用している。

**[六ッ美村誌]**

編者： 六ッ美村是調査会  
発行： 六ッ美村是調査会  
発行日：1926（大正15）年12月1日  
発行所：日新堂書店  
印刷所：活版印刷所

**[大嘗祭 悠紀齋田]**

筆者： 野々山 克彦  
監修： 野村 弘、都築 末二、山崎 鉦司、越山 義之  
発行日：2014（平成26）年4月1日  
印刷所：永田印刷所

**[大嘗祭 六ッ美悠紀齋田100周年記念事業記念誌]**

編集・発行：六ッ美悠紀齋田100周年記念事業実行委員会記念誌編集委員  
発行日： 2016（平成28）年2月25日  
印刷所： 大日印刷株式会社